



# 2024年文化祭を開催しました

ホームページをリニューアルしました!

10月19日(土)、能勢分校の文化祭を開催しました。各学年が趣向をこらし、体育館では歌や劇、クイズ大会。教室では催しを企画。また今年は生徒による模擬店が解禁され、ベビークスターやフランクフルト、ポップコーンなどの販売もありました。分校農場の生産物や応援する会の農産物、PTAの企画、ノセボックス、そして初の試みとして、地域魅力化クラブが能勢で人気のパン屋さん「薪パン日々」とコラボしたパンの販売もありました。降雨のため、軽音楽部の演奏が中庭から体育館になる変更もありましたが、生徒たちは体育館の出演に教室企画、販売にクラブ参加と、大忙しながら、文化祭を大いに楽しんでいました。

保護者の皆様や、地域の方々にも多くご来場いただき、笑顔あふれる楽しい文化祭となりました。



家庭科部制作展示



農場生産物の展示



1年生模擬店



## 3年生が『課題探究GSⅡ』最終発表会を行います

3年生は課題探究GSⅡ、2年生は後期から課題探究GSⅠに取り組んでいます。GSとはグローバルスタディーの略で、グローバルとは、グローバルとローカルを掛け合わせた造語です。グローバルな視点を持って、能勢町や豊能地域(ローカル)の課題を“地域とともに”・“地域のために”課題解決をめざす学びの活動が豊中高校能勢分校の課題探究です。

各系列・学習群の学びの中から自ら課題を発見し、課題の本質を掘り下げ、チームで協力しながら7月5日(金)に3年生が課題探究GSⅡの中間発表会を行い、自分たちが選んだ課題解決への進捗具合を2・3年生に向けて発表しました。そして、12月20日(金)には、これまでの探究の集大成となる最終発表会を、浄るりシアター大ホールにて開催します。

ぜひ皆さんお越しください。

### 3年生課題探究GSⅡ テーマ

コース	テーマ
探究コース	芸術文化祭
	ゼロカーボン
食農流通コース	レンゲがハチと能勢を救う? レンゲの花で三方よし!
	ドローンの活用方法
里山起業コース	カメムシによる能勢町の被害を抑える
	古民家再生プロジェクト ~能勢の魅力発信~
対人支援コース	手話を広めよう
	能勢分校生の体力向上

### ●● 課題探究GS最終発表会のお知らせ ●●

日時:令和6年12月20日(金) 時間:9時30分~12時45分

場所:浄るりシアター 大ホール (受付開始:9時00分)

生徒たちの探究活動の成果をぜひ見に来てください!



中間発表会のようす

## = 2年生「課題探究GS I」 =

2年生の「課題探究GS I」では、探究活動を通して仲間と「協働」しながら、様々なことに「挑戦」し、自分自身と地域社会の未来を「創造」する力を習得することを目標としています。能勢地域の課題解決に向けた計画を立て、フィールドワークの手法、集めたデータをもとにした資料、プレゼンテーションの方法などを学びます。



## フィリピンスタディツアーに行きました

本プログラムは、公益財団法人オイスカとの連携、株式会社能勢・豊能まちづくりからの寄附金の活用により実施することができました。

8月4日(日)～10日(土)にフィリピン・ルソン島北西部にあるアブラ州へ、2年生5名が7日間のスタディツアーに行きました。

このプログラムは環境や農業などに関する海外での学びを、能勢・豊能の地域課題探究につなげていく、本校初の取り組みです。現地国立大学との交流や、海や山での植林体験など充実したプログラムでした。



国立アブラ大学バンゲッドキャンパス

1日目は日本からアブラ州への移動(ニノイアキノ国際空港から専用車で約400km)で1日が終わりました。2日目はアブラ州知事やフィリピンの大学生たちに向けて「能勢町」についてプレゼンテーションをしました。国立アブラ大学バンゲッドキャンパスで環境交流プログラムと題しての講義を受講した後、生徒によるダンスやレクリエーション等々、現地の高校生・大学生との交流を楽しみました。翌日の国立アブラ大学ラガランキャンパス(メインキャンパス)では、学長の話や教授による講義を受講後、敷地内にある・竹林や竹の加工工場の見学をしました。午後はオイスカ研修センターに戻り、サトウキビから砂糖を製造する過程の体験を行いました。

プログラム後半は、南イロコス州カバガオ市の市長を表敬訪問した後、マングローブの植林を行いました。マングローブの植林が、津波による被害の防止、海洋生物の豊かな環境、豊かな漁業、そして水産資源を活かしたまちづくりへつながっていくと学びました。翌日は、森林破壊により、緑が失われていた山にナラの苗木の植林をオイスカの研修生たちとともに行いました。最終日は研修センターにてフェアウェルパーティーが開催され、大いに盛り上がりました。そして、オイスカからスタディツアーの修了証を授与されました。

とても多くの体験や貴重な経験をしました。この経験が次の学びにつながることでしょう。

日程	訪問場所
8月4日	関西国際空港→ニノイアキノ国際空港→アブラ州
5日	アブラ州知事訪問、国立アブラ大学バンゲッドキャンパス
6日	国立アブラ大学ラガランキャンパス、オイスカアブラ研修センター、世界遺産観光
7日	南イロコス州カバガオ市長表敬訪問、マングローブの植林
8日	ナラの苗木の植林、フェアウェルパーティー
9-10日	アブラ州→マニラ(ショッピング)→関西国際空港



オイスカ研修センター



アブラ州・マニラ → フィリピン



マングローブの植林



ナラの苗木の植林



能勢・豊能みらい会議

帰国して9月11日(水)、スタディツアーに参加した生徒たちがこのツアーで得た学びを、「能勢・豊能みらい会議」の場で、地域の皆様に報告、発表しました。自分たちが学んできたことを共有できた貴重な時間となりました。



# 学校説明会・体験会を行いました

中学生の皆さんを対象に毎年、能勢分校を知ってもらうための分校体験会や農業授業体験会、そして受験を考えている方にむけた、学校説明会を行っています。

分校体験会は7月6日、9月7日に行いました。参加した中学生はコンピューターデザインについてや、「折り紙」という遊びを考える授業といった、高校生が受ける授業を中学生向けにアレンジしたものを体験しました。その後、部活動体験を実施しました。中学3年生以外に1・2年生の参加もあり、能勢分校の高校生たちとの部活動体験を通じて、学校の様子が分かり、興味関心が高まったとの回答を多くいただきました。

農業授業体験会は8月17日に行われ、分校の農場でブドウや西洋ミツバチ、ニワトリなどのようすを観察、飼養管理、農作物の収穫や栽培などの体験と、農業系列の学習内容の紹介を行いました。実物に触れることで一層の理解が深まったようでした。

第1回学校説明会は10月26日に実施しました。最終回である第2回説明会は11月30日に実施予定です。体験会に参加された方であっても、能勢分校に興味のある方はHPからお申込みください。



能勢分校パンフレット

パンフレットをリニューアルしました！



能勢分校HPもリニューアルしました！！



分校体験会



農業授業体験会



## ラトビアとニュージーランドから留学生が来ています

10月16日(水)から11月8日(金)まで、ラトビアからハラルズ・オゾルズさん、ニュージーランドからミレン・オトゥールさんがAFS短期留学生として能勢分校に来ています。能勢町のホームステイ先から通学し、1年生と共に学んでいます。約1か月という短い間ですが、能勢分校で多くの経験をして欲しいですね。

### ラトビア

ラトビアの首都リガに住むハラルズさんは、放課後は音楽学校へ通い、オーケストラでサクソを演奏しています。また、合唱団にも所属しており、ラトビアの歌やダンスのフェスティバルに参加もしています。以前から日本に興味があり、日本の「小さなものに素晴らしさを見出す」考え方にラトビアとも共通点を感じているそうです。日本ではたくさんの人に出会い、自分の視野を広げたいと考えています。



### ニュージーランド

ニュージーランド北部のハミルトンに住むミレンさんは、日本語を4年間学んでおり、さらに6歳の頃からアイリッシュ・ダンスも続けています。読書やスタジオジブリの映画、おいしい食べ物、音楽、洋服、動物などが大好きで、多趣味な一面を持っています。彼女は日本でたくさんの人と交流したいと考えているそうです。



## 留学生ホストファミリー&サポートメンバー募集

本校では毎年、海外からの長期・短期留学生の受入れを行っています。留学生が滞在する家を提供していただくホストファミリー、または、ホストファミリーのサポートや週末だけ留学生と一緒に出かけるなど、留学生のサポートをしてくれる方を随時募集しています。

興味のある方は、担当者までお気軽にお問い合わせください。

連絡先：豊中高校能勢分校

☎ 072-737-0666

国際交流担当：田中 or 川嶋

toyonaka-noseb-hs@gbox.pref.osaka.lg.jp